

1 市の概要（H30.12時点）

人口	71,875人
保護率	0.56%

2 支援状況調査（H30年度）

新規相談受付件数人口10万人当(件)	
一月当たり	16.4
プラン作成件数人口10万人当(件)	
一月当たり	2.4
就労支援対象者人口10万人当(件)	
一月当たり	1.5
就労・増収率(%)	76.9

3 実施方法について

実施方法	委託（単年度契約）プロポーザル方式
事業費	4,000千円
理由（委託）	<ul style="list-style-type: none"> ○相談行動を起こせない子どもや親へのアウトリーチを基本としつつ、個々に応じた場づくりを進めることを市の方針とした際に、直営の自立相談支援機関との役割分担による柔軟な支援ができると考えたため。 ○居場所づくりや学習支援に取り組んでいる実績とともに、関心のある多様な大人の関わりと地域資源のネットワークを広げる活動展開が期待できるため。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ○対象は小・中・高校生（中退、未進学も含む）で自立相談支援機関が支援が必要と判断した子ども。 ○生活保護や家庭児童相談、SSW、児童精神科などの関係先とも連携し、対象児の把握につとめる。 ○関係機関でケース会議を行い、個々に応じた支援関係の構築を図る。 ○支援員（ユースワーカー）を配置。家庭へのアウトリーチによる支援（245回）を通じ、1人ひとりと関係を構築。 ○住民の協力を得て、地域のイベントなども活用しながら、個々の関心に応じた学習・体験・関わりを提供する場の創出（28企画）。 ○学力の獲得・向上のみを主眼とせず、自己肯定感の回復・育成、親以外の大人や同世代との関わりを通じた社会性や将来展望の形成を含めた「学び」を重視する。 ○自立相談支援機関とは常に密接に連携し、子どもへの支援とともに、親への支援を一体的に行う。
その他特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ○場づくりに関われる大人の育成・発掘のため、継続的にワークショップを企画。住民との対話の場を構築する中で、できる一步を踏み出せるよう働きかけている。（子ども達との関わりを持った地域の大人53名） ○地域福祉計画の重点施策としており、市地域福祉施策推進会議で事業の進捗を取り上げ、評価している。

4 事業実績（H30年度）

実利用者数	小学生	中学生	高校生	その他	計
生活困窮	11	14	6	4	35
生活保護	3	2	2	1	8

5 事業実施のポイント ～1人から始まるオーダーメイドの場づくり～

- 特定の場所を定めず、1人ひとりへの個別の関わりを通して、対象児に応じた“学び・育ち”の場を用意するオーダーメイドの支援
- 支援員との信頼関係のもと、対象児の興味関心を入口とし、地域に多様な場を創出し、子どもが一步踏み出すことに寄りそう支援
- 経済的貧困の解消や学力向上に留まらず、生きることの基盤となる自己肯定感の獲得、大人との信頼関係構築や将来展望形成につなげる支援

創出された主な場

地域の学習会・ゲーム大会参加、青年会議所キャンプ・バンド練習・フットサル練習参加、原付免許の個別学習指導、Jリーグ観戦同行、たこ焼き・カレー・鍋パーティー参加、企業夏祭り手伝いなど



子どもの変化

やりたいことを口に出すようになった、全く人と関われない子が1対1でサッカーができた、「大人って面白い」と言うようになった、将来を語り始めた、学校に居場所はないが学習会には来れた、学習会には来れないが1対1では会えた、学校に行き始めた、高校に行きたいと言いだした、進路を語り「働く」という言葉が出てきた等

6 取り組んで良かったこと

- 専門職の手だけによらない、地域の多様な大人のボランティアによる自然体の関わりが、子どもの自尊感情、学習意欲、生活状況の向上につながっている。
- 関わる地域の大人もまた学びを深め、関わりを通して充実感を得る等好影響があり、地域の新たな支えあいの輪が広がりつつある。